



議会だより



9月からの供用開始となる水循環センター（瓜生町）

主な内容

予算・条例審査など	2～4 頁
一般質問	5～8 頁
審議議案一覧など	9 頁
委員会審査など	10 頁

5月臨時会・6月定例会の概要

平成21年第3回越前市議会臨時会は、5月29日に開かれました。この臨時会では、市長提出の条例案2件と専決承認案7件、議員提出の条例案1件が提案され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採択の結果、いずれも可決・承認しました。

第4回越前市議会定例会は、6月12日から6月26日までの15日間にわたって開かれました。この定例会では、市長提出の補正予算案1件、条例案2件、一般議案2件が提案され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採択の結果、いずれも可決しました。

また、一般質問には16人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

5月臨時会

※（ ）内は質疑をした議員名

一般議案審議

■専決処分の承認を求めることについて（平成20年度越前市一般会計補正予算（第6号））
（中西議員）

問 商工団体からの要望で、県は経営安定資金の返済負担の軽減を検討しているが、市としての考えは。

答 信用保証料の補給金については、利子の約2分の1を3年間補給するもので、これからも続けていくつもりである。

■専決処分の承認を求めることについて（平成20年度越前市国民健康保険特別会計補正予算（第4号））（玉川議員）

問 国民健康保険特別会計において、4000万円の減額となっているが、歳入で国・県からの交付金が減少しているのに市の基金を1億2000万円も取り崩しているのはおかしいのではないか。

答 当初見込んでいた国・県の交付金が減少したため、その分を基盤安定基金から充当することになった。

条例審議

■越前市職員の給与に関する条例等の一部改正について
（玉村・玉川議員）

問 この時期に市職員の夏季ボーナスを減額すると、一段と消費の低迷、景気悪化が加速して悪循環を繰り返すのではないか。

答 国は、公務員の消費減退以上の投資を公共部門で行い需要を喚起する取り組みを行っている。市としては、人事院勧告を尊重して給与等の改定を提案した。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

今臨時議会において、人事院勧告に準じて6月に支給される期末手当及び勤勉手当の額を暫定的に減額する旨の越前市職員の給与に関する条例の一部改正が可決されたことから、議員に支給される期末手当についても同様に減額することとした条例改正案が議員から提案され、満場一致で可決されました。

6月定例会

予算審議

※（ ）内は質疑をした議員名

■地域活性化・経済危機対策臨時交付金
3億5500万円
（三田村・城戸・玉村・玉川議員）

問 緊急経済対策と言いつながら、商業界や商店街に向けての取組みがないのではないか。

答 今回は、市内企業の製品を購入しバックアップすることで景気回復を目指している。商業者については、補正に限らず当初予算でも商店街の活性化につながるような努力をしている。

■庁舎維持管理事業
4817万円
（関・伊藤議員）

問 地上デジタルテレビの発注について、安く買おうとすると一括発注だが、経済対策となると地域の電器屋に発注した方がよい。その辺の判断はどうするのか。

答 用品の発注については、まだ確定していない。入札制度もあるが、市内に広く発注したいと考えている。

■市民バス運行事業
2100万円
（小形議員）

問 平成18年に運行の見直しを行い利用者が増えてきていることだが、現在のルートが適正かどうかの見直しの予定は。

答 市民バスの利便性を更に高めるため、現在の運行内容を基本に、利用者アンケートも行い、平成22年からの運行見直しに向けての作業を進めている。

一般会計予算 4億2,600万円を追加補正

(千円)

	補正前	補正額	補正後	伸び率
一般会計	29,737,000	426,000	30,163,000	1.4 (%)



市民バス のろっさ

予算審議

■公立保育園整備事業

1110万円

(川崎・中西議員)

問 耐震診断委託について、この中に北日野保育園が含まれているが、この園は平成18年に大規模改修をしていて整備済みではないのか。

答 前回の大規模改修については、幼稚園と保育園の合同保育を実施するための改修で、建物の耐震補強は含まれていなかった。

■感染症予防事業

800万円

(細川・中西議員)

問 今回のマスク等の備蓄は職員用であるが、疾患を抱えたハイリスクの方々への積極的な配布は考えられないか。

答 この備蓄は、一定期間市の業務を継続するための最低限のものである。今回は基礎的な部分への措置であり、国全体での取り組みが明らかになる中で、順次対応していく。

■地球温暖化防止対策事業

200万円

(中西議員)

問 電動アシスト自転車導入促進補助金について、補助金が申し込み多数の場合はどうするのか。

答 補助率4分の1で上限2万円、100台分を想定しており、購入時に自転車店を通じて申し込んでいただくことを考えている。

■水稲振興対策事業

71万円

(細川・三田村・川崎・中西・嵐・金子・玉川議員)

問 米の大粒化で1.9ミリの網目になると出荷量は減るが、出荷した米の価格は上がる。量が減る分と価格が上がる分で農家の所得はどうなるのか。

答 網目の変更で落ちる量は増加するが、福井県産米の評価が上がれば取引価格も上がる。まだ、はつきりは分らないが、収入減になるとは考えていない。

■観光客増加促進事業

375万円

(小形議員)

問 市内の公衆トイレ整備に係る予算であるが、中心市街地のイベントの中心である蔵の辻にトイレがない状況をどう考えるのか。

答 蔵の辻のトイレ設置については、関係者の合意形成が難しく、現在の札の辻やまちなかプラザのトイレで対応したい。



札の辻の公衆トイレ

■越前発新事業チャレンジ支援事業

1000万円

(細川・題佛・中西議員)

問 市内の中小企業の中には、この補助があることを知らないうところもあるので、もっとPRが必要ではないか。

答 商工会議所や商工会、市のホームページ等ではお知らせしているが、まずは商工政策課に相談していただきたい。

■景観まちづくり推進事業

725万円

(佐々木議員)

問 違反広告物が増えてきているが、それを取り締まる基準、是正基準についてはどうなっているのか。

答 今回、県下統一して屋外広告物の調査を行うもので、県はこの結果を受けて統一した是正基準を作成し、設置基準の見直しも図っていくと聞いている。

■小学校施設営繕事業

4503万円

(関・金子議員)

問 3月議会で、学校にはLAN整備がされており地デジ化は必要ないとの答弁であったが、今議会で公共施設にテレビとチューナーを整備することにした理由は。

答 当初、22年度にデジタル移行を考えていたが、今回、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金制度により、1年前倒しで整備のための予算を計上させていただいた。

■地方債現在高

366億3085万円

(玉川議員)

問 市の借金残高が2年前より約1億円増えたが、市の市債に対する考え方は。

答 通常の起債は減らしているが、国の交付税措置がある起債については、財政計画の中で位置づけて発行しており、健全財政に心がけている。

予算審議

■生涯学習センター施設管理事業 7870万円
(吉田・小形議員)

問 市民ホール2階に障害者用トイレを作るとのことだが、利用の多い3階ホールへの設置は考えないのか。

答 各フロアに設置するのが理想だが、会議室がたくさんあり利用率も高かった2階へ設置することとした。

■公会堂記念館施設管理事業 130万円
(関・金子議員)

問 公会堂記念館は歴史的建造物で市のシンボルのなものであるが耐震度は低い。補強が必要となれば相当額が必要で、今後も公会堂記念館を保有していくのか。

答 公会堂記念館は、中心市街地活性化の拠点としても重要な施設でもあるので、今後の補強計画の中でどういう改修をしていけば良いかを見定めたい。



公会堂記念館



市民ホール

条例審議

■越前市市税賦課徴収条例の一部改正について
(城戸議員)

問 今回、まだ公布されていない農地法の一部を改正する法律に関連する改正規定があるが、公布されていない法律を先回りして議決することが良いことなのか。

答 今回の条例改正は、地方税法の一部改正に伴う農地法の改正見込みを織り込んでいるもので、この法案が通過した後、同法の施行日をもって適用するものである。

■越前市国民健康保険条例の一部改正について
(城戸・中西議員)

問 出産一時金の引き上げについて、10月1日が施行日となっているが、議会終了後の7月1日から施行できないか。

答 今回の改正は、全ての保険者を対象とした健康保険法施行令が改正されたことによるものであり、国民健康保険以外の社会保険等の加入者との公平性も考慮している。

一般議案審議

■工事の委託協定について
(西野・城戸・中西・玉川議員)

問 この下水道施設が供用開始されてから約30年がたつが、なぜ今回の工事も日本下水道事業団が委託先なのか。

答 昭和50年度の基本設計以来、センターの建設、増設、改築等すべての業務を受託してきた実績があり、センターの現状に精通していることから日本下水道事業団を委託先に選定することが最善であると判断した。

問 これからの下水道事業については、事業団への全面委託ではなく、住民の要請に答えるため、市独自の下水道計画を立てていくべきではないか。

答 新たな整備手法については、現在、下水道整備のための資金計画を作成中であり、将来に向けて持続可能な汚水処理施設のあり方を検討している。

表彰

議員在職15年以上

- ・全国市議会議長会
- ・北信越市議会議長会
- 議員 福田 修治

議員在職10年以上

- ・全国市議会議長会
- ・北信越市議会議長会
- ・福井県市議会議長会
- 議員 北野 光夫
- 議員 佐々木 富基
- 議員 西野 与五郎
- 議員 中西 眞二

9月定例会日程

▼9月2日(水)
本会議(提案理由説明)

▼9月7日(月)～10日(木)
本会議(質疑、委員会付託、一般質問)

▼9月14日(月)～16日(水)
各常任委員会、特別委員会

▼9月18日(金)
本会議(委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)

※議事の都合により日程が変更になる場合があります。

一般質問

質問・答弁の要旨は次のとおりで、1議員につき2項目のみを掲載しています。

新世紀・市民派ネットワーク

大志 片粕正二郎

日本共産党議員団 玉村正夫

大久保恵子

市長選挙への出馬について

Q 秋の市長選挙に出馬する表明をされたが、次の4年間には何を指すのか。

A 4年間の成果を理解していただき、この10月の市長選挙で市民の皆様のご支援が得られるならば、ふるさと越前市のさらなる発展を目指し、施策の推進に全力を傾けていく決意である。

Q 次の市長選挙には、どのようなマニフェストを掲げて臨むのか。

A 2期目の市政を目指すに当たり、新たにマニフェストを作成することを考えており、多くの市民・団体のご意見をいただいた上で、今後4年間の重点課題を整理し、夏頃には明らかにしたい。

就学援助について

Q 昨今の経済情勢悪化に伴い、保護者の失職等で就学が困難になった場合に就学援助の速やかな認定が必要だが、市の対応は。

A これまで前年度の所得を基準にしていたが、本年度より現在の収入が認定基準を満たす場合は就学援助費を支給できるようにした。

公社長期保有地について

Q 土地開発公社の塩漬け土地について、越前市では、買戻し問題にどのような対応がされているのか。

A これまでも買戻しを進め資産の軽減を図っている。平成16年度からの5年間で15億円資産軽減を行ってきており、今後も引き続き処分に努めていきたい。

男女共同参画社会について

Q 先の自治振興会の設立総会の出席者は、ほとんどが男性で女性の参加が少ない。このことに対する市の考えは。

A 各地区や町内の役員等における女性の占める割合が非常に少ないのが現状で、今後自治振興会や公民館と連携し、地域での男女共同参画の推進を図っていきたい。

政策への市民参画について

Q 最近、各種プラン・計画の策定において、形式だけの市民参加が増えている。本気で現場の声を聞き政策を作ろうとする気があるのか。

A 各種計画の策定には、策定委員会委員の公募等、計画案段階でのアンケートやパブリックコメントの実施で市民の意見の反映に努めている。



パブリックコメントで意見を募集しています。



もくせい会館

もくせい会館について

Q 今年の4月以降、もくせい会館の使用を停止しているが、その理由は。

A 今立総合支所周辺には多くの公共施設があり、その有効な利用形態、施設の老朽化を勘案した結果、もくせい会館の用途の廃止を決めた。関係者のご理解をいただいていると思いましたが、まだ努力が足りなかった。今後のあり方も含めて、納得いただけるようしっかりと説明を行いたい。

町民プール跡地について

Q 南越中学校校横の旧町民プールを廃止した跡地に、武道館を建設できないか。

A 現在、南越中学校体育館の2階に武道場があり、新たに武道館を建設する予定はない。

政新会 伊藤康司

一般質問

日本共産党議員団 前田 修治

国保税の抑制について

Q 国保税の滞納には高すぎる保険税の問題があり、基金や一般会計からの繰り入れて、国保税をこれ以上上げない運営を図るべきではないか。

A 税率の算定には、医療費適正化、収納率向上等により国保会計の健全化に取り組んでおり、国県の動向を見極め、慎重に検討していく。

公明党議員団 吉田 慶一

リサイクルセンターについて

Q 市内の公共施設内に、ごみ資源化普及啓発等の拠点として、(仮称)リサイクルセンターを設置してはどうか。

A 現在は、利再来館や出前講座等を通じて市民へのPRを図っており、ある程度の啓蒙はできていると考えているので、当面は現在の方法で対応したい。

資金融資制度について

Q 融資を受けたのに受けられない人がいる。本当に困っている人の実態を把握し、適切な対応を。

A 市では金融面での支援が得やすくなるよう施策の推進を考えており、市融資制度の金融機関への預託金額の増額、借入限度額の拡大、融資利率の引き下げも行っている。

ゼロ・ウェイスト宣言

Q さらになるごみの減量化をめざして、資源の浪費や無駄をなくすゼロ・ウェイスト宣言を考えてはどうか。

A 越前市では、平成19年度に策定した環境基本計画でごみ減量に対する取り組みを行っており、現段階ではゼロ・ウェイスト宣言は考えていない。



南越養護学校



利再来館での再生品の展示

新世紀・市民派ネットワーク

三田村 輝士

雇用対策について

Q 雇用対策は、国・県・市の連携のもとに成り立っているが、越前市の実情に合った市独自の雇用対策・支援事業が必要ではないか。

A 国では再就職支援、能力開発対策を行っており、市では職業訓練センターで市独自の事業を行い、職業能力の向上を支援していく。

政新会 福田 往世

総合計画について

Q 現在の中心市街地活性化策は各地区の施策に一体感がない。定住人口が減少傾向の中、人を引き付ける魅力ある柱をどこに焦点を置くのか。

A 中心市街地の魅力は、古い歴史資源と都市機能が集積している場所であり、誰もが住みやすく多様な住み方のできる環境作りを考えている。

障害児の学童保育について

Q 南越養護学校の学童保育について、常勤の指導員を配置し年間を通じての開催が出来るか。

A 専従の職員を確保し指導員のスキルアップを図りながら障害児の学童保育を支援していきたい。特に指導員の確保が困難なクラブを重点的に支援していきたい。

新庁舎建設について

Q 人口規模が同じ燕市が、越前市の約半分の建設費で庁舎建設を考えている。今後、庁舎建設計画の見直しは考えられないか。

A 平成18年度の新庁舎建設検討報告書は、総務省の算定基準に基づいた標準的なもので、今後しかるべき時期に精査していきたい。

一般質問

政新会 川崎 悟司

公明党議員団 関利英子

政新会 中西眞三

政新会 城戸 茂夫

耕作放棄地について

Q 国は今後5年間で耕作放棄地の解消を目指していくといっているが、現在のようなやり方で、耕作放棄地が解消する見込みがあるのか。

A 5年間で耕作放棄地を解消できるかは難しい問題であるが、市としては、耕作放棄地解消支援ガイドラインを策定し解消に努めていく。

Q 農業ビジョン策定委員会には、第2種兼業農家の代表者が入っていて、実際に赤字で苦しんでいる農家の代表の声が届いているのか。

A 食と農の創造審議会委員には、兼業農家の代表という形ではないが、第2種兼業農家の方がおり、その役割を担ってもらっている。

介護サービスの確保について

Q 介護の現場はきつい仕事の割に賃金が低く、離職する人が後を絶たない。4月の介護報酬の改定で介護職員の処遇は改善されたのか。

A 事業所に処遇改善の要請はしているが、実態把握は困難である。今後国が行う介護従事者の実態把握の動向を踏まえて対応して行きたい。

Q 国は女性の健診応援のため、乳がんと子宮頸がん検診の無料クーポン券の送付を決めたが、検診の受け入れ態勢はどうなっているのか。

A 越前市におけるクーポンの利用可能なところは、丹南地域に限られ、乳がんが6ヶ所、子宮がんが7ヶ所の医療機関となる予定である。

プレミアム買物券について

Q 3月に発売したプレミアム付買物券は、買いたくても買えなかった人がたくさんいた。今後、追加発行をするような考えはないか。

A 今回は地元商店と越前和紙の支援を図るために発行したが、現在、景気雇用対策で様々な取り組みをしており、追加発行の計画予定はない。

Q 地元から要望のあった、愛宕山の連絡道路については、緊急避難道路として一般市民に提供できないか。

A 連絡道路については、通常は公園の管理、散策用通路として一般車両の通行は考えていないが、災害時においては、その状況に応じた対応をしていきたい。

兼業農家について

無料クーポンについて

丹南総合公園について



土地開発公社の保有地



3月に発行されたプレミアム付買物券

ケーブルテレビについて

Q 加入者数が大きく進展しているケーブルテレビは、財務内容が好調だと聞いているが、もう少し価格を下げるよう要望してはどうか。

A 丹南ケーブルテレビは、現在、地上デジタル放送対応のため多額の投資を行っているところなので利用料の引き下げは難しいと聞いている。

土地開発公社について

Q これまでは用地の先行取得など公社の存在価値はあったが、バブルがはじけて土地の価格が下がり始めた今、公社の存在価値はあるのか。

A 財務体質の改善を図る中で議会とも十分相談させていたが、公社のあり方、方向性について検討させていただきたい。

一般質問

大志 西野与五郎

農業活性化について

Q 本市の農業は、米作中心、兼業農家を中心となっており、この農業を守るには小規模農家、集落営農等との連携が必要だと考えるが。

A 本市の農家の85%が第2種兼業農家であり、出来ることならば、この兼業農家の8割が集落営農組織の組織化に取り組んでもらいたい。

良質米について

Q 良質米生産への取り組みとして、冬季間水田に水を張り、微生物の活性力を生かしておいしい米を作る方法を検討してはどうか。

A 現在、県と市でその研究会を設置し、地域内に実証田を設けてその効果の検証を行っている。その効果が確認できれば普及も考えたい。

自由クラブ 題佛臣一

地球温暖化対策について

Q 市独自で庁舎や公共施設に対する地球温暖化対策としては、どのようなことをしているのか。

A 本年度から本庁舎の電力使用量の目標値を設定するデマンド管理、また6月からは庁舎内に節約令を発して、エネルギーや経費の削減に取り組んでいる。

LED街灯について

Q 現在、整備が進んでいる丹南地域総合公園に、消費電力が少なく地球環境保護への貢献が大きいLED街灯を設置できないか。

A 県に確認したところ、これから実施設計に入る予定であり、その中でLED街灯や地球温暖化対策に対する整備検討をすると聞いている。



造成の始まった丹南地域総合公園



ユニバーサルデザインに配慮したトイレ

諸派 細川かをり

ユニバーサルデザイン

Q 公共施設のユニバーサルデザインについては、利用者の満足度や意見を聞きながら、それを現場の改善に生かして使いやすい施設を作り上げていくべきではないか。

A 市民の立場に立って、利用しやすいよう、今後の公共施設のあり方、活用の方を考えていきたい。

公共施設の管理について

Q 公共施設の管理に当たっては、市職員だけではなく、委託先施設の職員にも、接客やクレーム処理のスキルアップを図るべきではないか。

A 市職員は、政策を語る前にまず接遇ありきと思っております。公共施設の職員については、研修のあり方を検討していきたい。

新世紀・市民派ネットワーク

玉川喜一郎

市民活動協働事業について

Q 市民活動協働促進事業補助金の審査に不満の声があるが、審査委員の協働の概念は統一されているのか。

A 市民協働推進会議委員と市の部長等9名が審査しており、審査に当たり事前に打ち合わせを行い、協働事業の概念、審査基準の考え方等の意思の確認を行っている。

出馬表明について

Q この秋の市長選に立候補するに当たり、外部評価委員会の評価だけではなく、市民や議会の評価も判断に入れてはどうか。

A 評価の結果が良かったから出馬するのではない。自分の意思で立候補して、それでは支持が得られるならば、4年間頑張らせていただきたい。

平成21年5月臨時会・6月定例会の審議議案

5月臨時会

◎満場一致可決 ◎賛成多数可決

【専決承認案】

- ◎専決処分の承認を求めることについて(平成20年度越前市一般会計補正予算(第6号))
- ◎専決処分の承認を求めることについて(平成20年度越前市下水道特別会計補正予算(第3号))
- ◎専決処分の承認を求めることについて(平成20年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第4号))
- ◎専決処分の承認を求めることについて(越前市市税賦課徴収条例等の一部改正について)
- ◎専決処分の承認を求めることについて(越前市都市計画税条例の一部改正について)
- ◎専決処分の承認を求めることについて(原子力発電施設等立地地域指定による固定資産税の不均課税に関する条例の一部改正について)
- ◎専決処分の承認を求めることについて(越前市国民健康保険税条例の一部改正について)

6月定例会

【補正予算案】

- ◎平成21年度越前市一般会計補正予算(第1号)

【条例案】

- ◎越前市市税賦課徴収条例の一部改正について
 - ◎越前市国民健康保険条例の一部改正について
- 【一般議案】
- ◎字の区域の変更にことごと
 - ◎工事の委託協定にことごと

議員の派遣について

派遣議員

片粕正二郎

目的

高齢者福祉、自然環境保護、ゼロ・ウェイスト政策、議会制度など

場所

オーストラリア、
ニュージーランド

期間

10月7日～15日

派遣議員

中西眞三、上山直行

目的

都市再開発と地域振興、高齢者福祉、教育政策、文化遺産保護によるまちづくり、環境など

場所

アメリカ、カナダ

期間

10月14日～22日

請願審議

6月定例会では、次の3件の請願を議会運営委員会で審査しました。最終日の本会議で採決の結果、委員会審査の結果のとおり、継続審査となりました。

・細菌性髄膜炎から子どもたちを守るワクチンの定期接種化に関する請願

・『非核日本宣言』を求める意見書」採択についての請願

・政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米買い入れを求める請願

市議会を

傍聴しましょう

本会議は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。場所は本庁舎別館6階です。来庁は、なるべく公共交通機関を利用するか乗り合わせをお越しく下さい。

議会史(旧武生市)を販売しています

- ▼第一巻：明治維新～昭和30年 7000円
- ▼第二巻：昭和31年～49年 9000円
- ▼第三巻：昭和50年～平成8年 10000円
- ▼資料編・議会だより縮刷版 6500円
- ▼完結編：平成9年～平成17年 6000円
- ※5巻全巻を購入の場合、35500円で30000円のお得になります。

申込先
議会事務局TEL(22)3426



議会史 全5巻

委員会審査

市長から提出された議案を審査するため、各委員会が開催されました。掲載記事は委員長報告の主な内容です

総務委員会

■ホームページ運営事業について

委員からは、この秋の市のホームページのリニューアルに当たっては、これまで以上にわかりやすい情報の提供に努めると共に、市民からの声を市政に反映させるための広聴機能の充実にいっそう工夫されたいとの要望がなされました。

なお、付託案件の審査のうち、委員協議会を開催し、今定期例会に報告されている土地開発公社の決算等に関し、協議を行いました。

委員から、土地開発公社決算報告書記載の公社監事及び越前市監査委員からの指摘に基づき、市として早急に公社保有土地に対する処分計画書を作成し、計画的に、対応をすべきであるとの意見がなされました。

教育厚生委員会

■老人クラブ活動支援事業について

委員からは、活動調査の委託に係る市の基本的考えについてただされました。

理事者からは、老人クラブは、見守り隊、交通安全等の地域活動においても活躍をされているが、会員の減少に伴って、地域活動への影響も課題となってくる。意識調査、活動調査をする中で、魅力ある老人クラブのあり方を探り、会員の増員を図っていききたいとの答弁がなされました。

さらに委員からは、壮年クラブ、婦人会など、社会教育団体が減少してきている現在、老人クラブは、福祉面、社会活動面からも、非常に大切な団体である。老人クラブの活動が活発になるような方策を考えてもらいたいとの要望がなされました。

産業環境委員会

■水稲振興対策事業について

委員からは、米の大粒化・売れ筋米生産実践事業に対し、どのように認識しているのかとただされました。

理事者からは、米の大粒化の目的は、食感を良くし、市場ニーズに応じた米づくりの推進を図ることである。県とJAが共同で進める事業であり、福井県米の競争力をさらに高めていく重要な事業であるとの説明がなされました。

これに対し、委員からは、米を大粒化することが、必ずしも米の良質化につながる訳ではないことを理解してほしい。大粒化の基準である1・9ミリ以下の米は低価格となることも懸念されることから、農家を守る政策もあわせて推進すべきであるとの意見・要望がなされました。

建設委員会

■工事の委託協定について

委員からは、今議会でも、工事の発注については、なるべく地元発注をしてほしいと要望している。電気や機械等の専門的な工事は、やむを得ないとしても、土木工事については、日本下水道事業団だけに工事を発注するのではなく、地元業者への発注は考えられなかったのかとただされました。

理事者からは、今回の工事については、家久浄化センターの水処理3系施設において、機械設備と電気設備の改築更新工事を施行するもので、高度な専門的知識が必要とされ、市では、なかなか対応ができないが、ここ数年は、市内業者で対応できる工事については、市独自で発注をしているとの答弁がなされました。



本会議の様子は、丹南CATVコミュニティチャンネルでご覧になれます。一般質問時には、質問項目一覧を放映するなど、分かりやすい放送に努めています。

議会だより編集委員会

- 委員長 城戸茂夫
- 副委員長 細川かをり
- 委員 三田村輝士
- 委員 関利英子
- 委員 題佛臣一
- 委員 西野与五郎
- 委員 前田修治

「越前市議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

■問い合わせ先

越前市議会事務局
TEL (22) 3426